

—2012 ホクレン大収穫祭初出品—

新品種「空育 172 号」販売のお知らせ

近年、消費者の食の安全・安心に対する意識はますます高まっています。その中、「空育 172 号」という、いもち病への耐性が強く、農薬を節減して栽培できる新しい品種が開発され、この度北海道優良品種に認定されました。正式な品種登録の前ではありますが、2012ホクレン大収穫祭にて、いち早く「試験栽培米」として販売いたしますので、お知らせいたします。

※節減対象農薬の使用成分回数を当地慣行比5割減とした原料を使用しています。



■空育 172 号の特徴

「空育 172 号」は、地方独立行政法人北海道立総合研究機構農業研究本部 中央農業試験場で開発された品種で、今年の 1 月北海道が優良品種に認定しました。



地方独立行政法人北海道立総合研究機構農業研究本部
中央農業試験場

良食味米「ふっくりんこ」を父に持つ、強いもち病耐性と良食味を兼ね備えた品種で、その耐病性により防除が削減できるため安全・安心というメリットに加え、生育における手間を省けることから、生産効率の面でのメリットが期待できることも大きな強みです。



※写真はイメージです。

空育 172 号の特徴

- ◆いもち病耐性が強く、本田薬剤防除を削減できる
- ◆割粃が少なく、カメムシ被害を抑制
- ◆食味は「ななつぼし」並み～やや優る
- ◆農薬を節減した栽培で安定的に生産できる
- ◆生育過程の作業効率が改善

<お問い合わせ先>

ホクレン農業協同組合連合会 米穀部 主食課

担当: 木村・垣内

TEL:011-232-6233

FAX:011-242-0135